

「新しい生活様式」を踏まえた学校衛生管理について ④

(参考)「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2 m程度 (最低 1 m)	行わない	個人や少人数でのリスクの低い 活動で短時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2 m程度 (最低 1 m)	リスクの低い活動から 徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実 施し、教師等が活動状況の確認 を徹底
レベル1	1 mを目安に学級内で 最大限の間隔を取ること	十分な感染症対策を 行った上で実施	十分な感染症対策を 行った上で実施

- 各学校の生活圏において、リンク不明の感染者が出てきたら、対応のレベルを上げ、感染リスクの高い活動をより一層制限することが重要。
- 地域の感染者の情報は、ほとんどの自治体で衛生主管部局が毎日公表している。この情報に十分注意を払っているかどうか。
- 衛生主管部局と教育員会が連携を密にし、地域の感染情報を共有し、感染者が多く出ている校区の学校には、注意を促してほしい。
 - ✓ 今まで、クラス内で複数の感染者が発生しているケースは、すでにその前に地域でリンク不明の感染者が多発していた。
 - ✓ 日ごろから衛生主管部局と十分に連携を。一度「学校クラスター」という言葉が出ると、言葉が独り歩きする。(今まで「学校クラスター」と報道された事例は、いずれもまだ学校で感染したという正式認定はされていない。)

「新しい生活様式」を踏まえた学校衛生管理について⑥

～学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（令和2年5月22日）より抜粋～

感染者が判明した学校の臨時休業の考え方

感染者が発生

濃厚接触者特定のための
臨時休業

感染者と濃厚接触者のみを
出席停止

濃厚接触者が多数いるなど
、広く感染が広がっていると
思われる場合
全部又は一部の臨時休業

学校全部の臨時休業が必要な場合は、感染症対策の観点からは非常に限定的。